

2023年度 理学研究科数理科学専攻 修士論文発表会の注意点

- 修士論文発表会は修士課程修了のための最終審査です。発表者は万全を期して厳粛な態度で臨んでください。
- 日程は2024年1月22日（月）23日（火）、会場は国際交流会館大会議室です。（プログラムは別途参照）
- 発表時間は一人15分です。はじめに司会の先生が名前と論文題名を読み上げます。発表開始から10分経ったところでベルが一度鳴り、15分でベルが二度鳴ったところで発表を打ち切ります。その後5分程度の質疑応答を行います。
- 会場には発表スライド用のPCを一台こちらで用意します。もし自分のPCを使いたい場合は持参してください。こちらで用意したPCを使用する場合は発表スライドのファイルをUSBメモリに入れて持参してください。
- 自分のPCを使用する場合は以下の時間帯に会場で動作確認を行なってください。混雑する可能性もあるので時間に余裕を持って行なってください。
 - － 1月22日：9:15～9:25, 10:20～10:30, 13:40～14:00, 14:30～14:40, 16:00～16:05
 - － 1月23日：9:15～9:25, 10:20～10:30, 13:00～13:10, 14:30～14:40, 16:00～16:10
- こちらで指し棒とレーザーポインターを用意します。もし自分のものが使いやすいという場合はご持参ください。
- 自分の発表以外の出席は自由です。発表中は静かに会場の入退室を行なってください。また会場の外でも静粛にしてください。
- 発表会当日は院生室と併せて8号館6階610号室を控室として使用できます。
- 発表会当日に会場で配布する資料を作成するので、理学部教務係に提出した修士論文の要旨をkibacoの「数理科学セミナー4(R0037)」の課題から添付して提出してください。提出の締め切りは1月17日（水）23:55 厳守とします。
- こちらの控え用に発表スライドのファイルをkibacoの「数理科学セミナー4(R0037)」の課題から添付して提出してください。提出の締め切りは1月22日（月）8:00 厳守とします。

2023年度 理学研究科数理科学専攻 修士論文発表会プログラム [1/2]

2024年1月22日（月）国際交流会館大会議室

9:30～10:20

黄 日栄 （内山研） Anshel-Goldfeld の一方向性関数について

鈴木 俊博 （内山研） グレブナー基底計算を用いた MQ 問題の解法における多項式選択について

10:35～11:50

植元 雅斗 （横山研） 耐量子計算機暗号における電子署名のマスクング

田中 一希 （横山研） 包括的 Gröbner 基底系を用いた parametric イデアルの根基計算

吉村 隼人 （横山研） $\mathbb{Q}(\sqrt{-1})$ と 2 次体の合成体における楕円曲線の everywhere good reduction について

14:05～14:30

一之瀬 凧渡 （石谷研） 関数近似について

14:45～16:00

栗沢 和也 （鈴木研） ネガ・マックス木におけるアルファ・ベータ剪定アルゴリズム

池田 怜治 （鈴木研） 葉に離散的な値を割り当てたゲーム木を計算するアルファ・ベータ剪定アルゴリズムの計算コスト

鈴木 悠大 （鈴木研） 葉に連続的な値を割り当てたゲーム木を計算するアルファ・ベータ剪定アルゴリズムの計算コスト

16:10～17:50

吉田 悠馬 （石谷研） Wiener 汎関数積分に対する微分連鎖律を用いたダブルバリア・オプションの 1 次 Greeks 計算法

田村 真晶 （吉富研） Carathéodory 微分について

陳 宇 （吉富研） ある Ehrling 型の不等式について

北田 有輝 （下條研） 環境変動を伴う空間 1 次元 Fisher-KPP 方程式の侵入現象

2023年度 理学研究科数理学専攻 修士論文発表会プログラム [2/2]

2024年1月23日（火）国際交流会館大会議室

9:30～10:20

鈴木 丈瑠 （津村研） 交代型多重フルヴィッツゼータ値について

唐澤 祐樹 （徳永研） 種数 3, 4 の superelliptic curve の簡約因子の幾何について

10:35～11:50

奥秋 想真 （津村研） Mordell-Tornheim 型多重ゼータ関数の一般化について

久保寺 康介 （津村研） 2変数の Arakawa-Kaneko 型 ξ 関数について

鎌田 雅史 （徳永研） 超グラフを用いた 0次元イデアルの生成元の構成について

13:15～14:30

川野 雄貴 （黒田研） 空間直線の rectifiability について

千葉 龍朗 （黒田研） 標数 $p > 0$ の体上の 3変数多項式環のある $\mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$ 不変部分環と台座イデアル

高島 佑太 （上原研） Triangulated categories of rational double points in positive characteristic
正標数における有理二重点の三角圏（英文）

14:45～16:00

青山 琳之介 （赤穂研） Grassmann 多様体へのトーラス作用に関するシンプレクティック商と
高次元 Polygon 空間の関係

小島 広夢 （横田研） 結び目群の放物型表現とその体積について

松井 仁 （酒井研） $\mathbb{Z}_2 \times \mathbb{Z}_2$ 対称構造に適合した不変リーマン計量

16:15～17:05

三堂 開登 （酒井研） 3次元非ユニモジュラー可解 Lie 群における極小曲面の表現公式

井川 祥一 （酒井研） 概アーベル冪零リー群による空間的等質性を持つリッチ平坦高次元時空